

ショートステイなごみの郷 利用料金表

1 サービス利用料金(併設空床型ユニット型)

内訳			要介護度	要介護度	要介護度	要介護度	要介護度	要介護度
			1	2	3	4	5	
保険	A サービス基本料金	1日	6,960 円	7,640 円	8,380 円	9,080 円	9,760 円	
自己負担	1割負担	B A×0.10	1日	696 円	764 円	838 円	908 円	976 円
	2割負担		1日	1,392 円	1,528 円	1,676 円	1,816 円	1,952 円
	3割負担		1日	2,088 円	2,292 円	2,514 円	2,724 円	2,928 円

2 食事代

低所得者負担限度額					一般
	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階以上
1日	300 円	600 円	1,000 円	1,300 円	1,620 円
30日	9,000 円	18,000 円	30,000 円	39,000 円	48,600 円

食事代 内訳	【一食毎:一般及び減免対象者】		
	朝食	昼食 (おやつ含む)	夕食
一般	440円	620円	560円
減免	395円	550円	500円

3 居住費

ユニット型個室	低所得者負担限度額					一般
		第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階以上
	1日	820 円	820 円	1,310 円	1,310 円	2,000 円
	30日	24,600 円	24,600 円	39,300 円	39,300 円	60,000 円

基準費用額	
居住費	1日
	2,006 円

4 加算利用料(要介護に該当する場合)

	1割負担	加算要件の概要
機能訓練体制加算	1日 12 円	機能訓練指導にあたる常勤専従の理学療法士等を1名以上配置している場合
個別機能訓練加算	1日 56 円	専従の理学療法士等が3か月に1回以上居宅を訪問した上で個別機能訓練を計画し機能訓練を行った場合等
夜勤職員配置加算Ⅱ	1日 18 円	夜勤職員が配置基準より1人分以上上回る場合
夜勤職員配置加算Ⅳ	1日 20 円	Ⅱの要件に加え、夜間帯を通じて看護職員等を配置している場合
若年性認知症受入加算	1日 120 円	若年性認知症利用者を受け入れた場合
緊急短期入所受入加算	1日 90 円	居宅サービス計画において計画的になっておらず、事情により短期入所が必要となった方を受け入れた場合
看護体制加算Ⅰ	1日 4 円	常勤の看護師を1名以上配置している場合
看護体制加算Ⅱ	1日 8 円	看護職員を基準数以上配置しており、24時間の連携体制を確保している場合
看護体制加算Ⅲ	1日 12 円	Ⅰの要件に加え、要介護3以上の利用者を7割以上受入している
看護体制加算Ⅳ	1日 23 円	Ⅱの要件に加え、要介護3以上の利用者を7割以上受入している
認知症専門ケア加算Ⅰ	1日 3 円	認知症高齢者が一定数以上入所しており、認知症介護実践リーダー研修修了者を一定数以上配置した場合
認知症専門ケア加算Ⅱ	1日 4 円	福祉施設認知症専門ケア加算Ⅰの要件を満たし、認知症介護指導者研修修了者を1名以上配置した場合
サービス提供体制加算Ⅰ	1日 22 円	介護職員の総数の内、介護福祉士が80%以上又は勤続10年以上介護福祉士35%以上配置している場合
サービス提供体制加算Ⅱ	1日 18 円	介護職員の総数の内、介護福祉士が60%以上配置している場合
サービス提供体制加算Ⅲ	1日 6 円	常勤職員75%以上又は介護福祉士50%以上又は勤続7年以上30%以上介護職員を配置している場合
送迎加算 (福島市内一部)	片道 184 円	居宅と事業所との間の送迎を行った場合に加算 通常実施地域外は1Km50円
療養食加算	1回 8 円	療養食を提供した場合
介護職員処遇改善加算Ⅰ	1回/月	算定したユニット型サービス費と加算を合わせた単位数の1000分の83
介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ	1回/月	算定したユニット型サービス費と加算を合わせた単位数の1000分の27
介護職員等ベースアップ等支援加算	1回/月	算定したユニット型サービス費と加算を合わせた単位数の1000分の16

注)負担割合2割の方、3割の方は、2又は3を乗じた額となります。

○ その他の個人負担 理美容代、医療物品代、電話代 等

☆ 1+2+3+4(該当するもののみ) = 利用料金

令和4年10月1日改定